

事業管理における LCIF交付金 コンプライアンス



Lions Clubs International
FOUNDATION

交付金コンプライアンスとは？

交付金管理におけるコンプライアンスとは、承認された交付金に関してライオンズクラブ国際財団が定める規定、条件、および法的要件を遵守することです。交付金が適切に使用され、事業の目標が達成され、説明責任が果たされることが重要です。受給者が遵守しようと努力しても、何がコンプライアンス違反に当たるのかを理解していなければ、不測の問題が生じることになりかねません。

本書では、交付金コンプライアンスの重要性、よくあるコンプライアンス上の過失、そうした状況を防ぐ方法に関する指針を説明していきます。受給者は、これらのリスクを認識し、未然防止策を講じることにより、交付金事業の管理と監督においてLCIFの要件を遵守し、透明性を確保するためのベストプラクティスに従うことができるようになります。

LCIFとライオンズにとって交付金コンプライアンスが重要なのはなぜか？

交付金コンプライアンスとベストプラクティスに従うことの意義について、ライオンズの認識を高めることが重要です。LCIFのコンプライアンスの枠組みを強化することには数々のメリットがあり、それは以下を目標としているためです。

- すべての交付金が効果的かつ倫理的に使用されるようにする
- 透明性と寄付者/パートナーからの信頼を高める
- 財務の不適切管理と法的問題のリスクを和らげる
- 受給者による説明責任の文化を培う
- 交付金コンプライアンスの問題を防ぐために取るべきベストプラクティスと手順に関するライオンズ受給者の認識とスキルを高める

受給者にとってよくある交付金コンプライアンスの問題にはどのようなものがあるか？

LCIFが承認した交付金事業は時に問題に直面することがあり、それがLCIFの交付金承諾書および/または合意されたガイドラインに従った効果的な実施に影響を及ぼします。交付金事業の実施において頻繁に生じる問題としては以下が挙げられますが、これらに限定されません。

- 資金の不正使用の申し立てまたは訴え
- 利益相反
- 財務報告に関する疑義および/または不備
- 財務の不適切管理
- 事業の成果の偽り
- ライオンズおよび実施パートナーによる事業管理上の問題
- 事業完了の適時性に関する問題
- 承認された事業期間内における進展の欠如
- LCIFの指示、条件、または決定の不履行

財務管理

透明性および説明責任を確保するための監督および財務上の実務を指す。

避けるべきこと:

- 承認されていない事業に交付金を使用すること、交付金を私的流用すること
- 適切な財務記録の保持を怠ること
- 交付金と交付金を混合し、任意の方法で使用すること
- 1つの事業に対して支給された交付金を別の事業の経費に充てること
- より有利な、または好都合な為替レートを求めて承認されていない方法または手順を用いること（これには、為替レートまたは銀行手数料が生じるのを避けるために非銀行機関または個人を通して資金を動かすこと、事業とは無関係な個人または団体に裏書した交付金小切手を渡すことが含まれます）。
- 財務を偽って伝えることを意図した何らかの理由により財務書類（見積書、支払い済み請求書、銀行明細書）を変更すること
- LCIF交付金を条件に現地での取り決めまたは約束をすること
- 未使用の交付金をLCIFに返還しないで保有すること
- 事業費を現金払いすること

ベストプラクティス:

- 予算を変更する場合には事前に承認を求める。
- 異なった交付金は別々の口座を設けて管理する。LCIF交付金は任意の方法で使用してはならない。
- すべての購入品の詳細な領収書と記録を保持する。
- 交付金の銀行取引要件を損なう、または逸脱する行為に関与しない。
- 財務書類は発行元から受け取ったその原型のまま提出する。
- 交付金承諾書の条項に含まれない財務上の約束および言質を与えない。LCIFはそのような取り決めの当事者ではなく、従う義務を負わない。
- 得られた利息があればそれを含めて、未使用の交付金は記録して全額を返還する。これらの資金の任意使用は認められない。
- LCIFによって事前に承認されていない限り、現金払いは固く禁じられる。

報告および書類

報告の実務、重要書類の要件、そして適切な記録を保持することの重要性を指す。

避けるべきこと:

- 現地マッチング資金を含めて、交付金の用途を立証する財務報告書を提出しないこと
- 不備のある、または不正確な報告書、証拠書類の欠如、領収書の紛失
- 事業の成果の偽り、誤った進捗状況または結果の意図的な報告
- LCIFに提出する前に書類（銀行明細書、見積書、支払い済み請求書、承諾書、その他）を変更すること、書類を改ざんしてLCIFに提出すること

ベストプラクティス:

- 報告書の提出期限を把握し、最終報告書が必ず提出されるようにする。
- 最終報告のためにどのような書類が必要かを把握する。記録のない支出があれば、受給者は返金を求められることになる。
- 事業の進捗状況を記録し、必要書類を整理する。
- 事業のありのままを報告し、成果と課題の実状を伝える。
- 疑わしい報告書は受理されないため、書類は発行元から受け取ったその原型のまま提出する
- 報告書は提出前に再確認し、必要な承認を得る。

利益相反

事業の実施に関与する個人・団体との関係、およびその関与を開示しない行為を指す。これには実際の利益相反だけでなく、不正に見える、または利益相反と受け取られる可能性のある一切が含まれます。

避けるべきこと:

- 事業委員会のいずれかのメンバーと個人的または職業的な関係を持つ特定の業者、企業、パートナー、またはその他の団体を関与させること
- 個人的または職業的な関係者との関係を開示しないこと、またはそのような関係者に契約および/または業務を発注すること
- 委員会のメンバーがその事業上の役職に対して報酬を受け取ること
- 個人的であるか職業的であるかを問わず、他の動機的手段として交付金を利用すること
- 資金を容易に操作できる交付金管理責任者および/または事業委員長の役職に家族、親戚、または配偶者を就かせること

ベストプラクティス:

- 事業管理委員会のメンバーが直接的または間接的に、事業のために選ばれる業者、企業、またはパートナーとの個人的または職業的関係を持たないようにする。
- 上記には、申請書の作成から承認された交付金事業の監視および評価に至るまでを含めて、交付金プロセスのさまざまな段階でライオンズと協力するために任命されるLCIF技術顧問も含まれる。
- 利益相反の可能性があれば、常に書面によりLCIFに開示する。
- 事業の業者、請負業者、企業、パートナーを選定する際には公正な調達慣行に従う。
- 交付金事業管理において不正に見える、または利益相反と受け取られる可能性のある関係を持たないようにする。

事業の実施

監督および説明責任を含む、事業の実施を指す。

避けるべきこと:

- 承認された事業活動および/または予算からLCIFの承認を受けずに逸脱すること
- 承認された事業期間内にほとんど、または全く進展が見られないこと
- 事業委員会による監督の欠如
- 事業委員会、特に交付金管理責任者と事業委員長の役割と責任に対する理解の欠如
- 現地のライオンズおよび/またはパートナーがそれぞれの役割と責任を明確に理解していないこと

ベストプラクティス:

- 承認された事業計画に忠実に従う。変更する場合には、事前にLCIFに連絡して承認を得る。
- 事業のスケジュールが注意深く監視され、必要に応じて調整されるようにする。スケジュールに遅れが生じたら直ちにLCIFに通知し、理由を説明する。交付金事業はすべて妥当な期間内に完了されるべきである。
- 交付金監理責任者および事業委員会は、財務活動を含めて、事業の実施を注意深く監視する責任を負う。定期的に会議を開いて事業の進捗状況に関する情報を交換し、必要に応じてLCIFに連絡して助言を求める。
- パートナーまたは受益団体との覚書を作成し、両当事者がそれぞれの役割と責任を明確に理解するようにする。
- 現地のライオンズおよびパートナーまたは受益団体と交付金承諾書および最終報告書のガイドラインを共有し、LCIFが最終報告書の提出時に要求するデータと情報を彼らが把握できるようにする。

道徳的・法的実践

事業の実施に関連する活動および実務のうち、誠実、高潔、公正、説明責任といった法的または道徳的原則に関わるものを指す。

避けるべきこと：

- 事業の実施における差別待遇
- 受益者の個人情報保護をしないこと
- 受益者から適切な承諾または許可を得ないこと
- 写真を含めて、受益者のデータを悪用すること
- 事業によって提供されるサービスに関連した政治的または個人的な偏向

ベストプラクティス：

- 事業の実施に関連した道徳的・法的実践に関する研修をライオンズに提供する。
- すべての受益者が公平に扱われるようにする。
- 受益者の情報は事業の実施に必要とされる限りにおいて収集する。受益者から集められる個人情報と機密情報を保護するための適切な措置を講じる。
- あらゆるプライバシーおよび秘密保持契約を遵守する。
- あらゆる政府政策、国別の規定、地域の法律、条例を理解して従う。これには、こうした地域の法律に詳しい現地の弁護士を探して相談することも含まれる。事業を企画してLCIFに交付金を申請する前に、こうしたことについて調査する。
- ライオンズクラブ国際協会の「道徳基準」の核心的な価値観は、国際理事会の方針とともに、自分に期待されていることを理解し、適切な決定を下すために役立つ指針と枠組みを与える。とはいえ、基準はあらゆる場面に当てはまるものではないため、「正しく」道徳的に行動するためには、自分の良識に従い最善の判断を下すことが肝要である。理事会方針書第6章に記載されている協会の「道徳綱領」を参照する。

結果と成果

ほとんどの事業は問題なく成功を収めますが、LCIFによる追加評価を必要とする問題に直面する場合があります。交付金コンプライアンスの問題はLCIF理事会による検討を受け、対応方法に関する助言が提供されます。ライオンズクラブ国際協会の法務部は、適宜状況に関する相談を受けます。

LCIF理事会はそうした状況を検討する中で、以下を含みますがこれらに限定されず、いくつかの措置を講じることで、生じている違反に対応する場合があります。

- 未使用の交付金があればそれも含めて、受給者に交付金の一部または全部の返還を求める。
- 状況の検討が行われている間は、分割払いおよび以降の支給が停止される。
- モラトリウム処分が下される。これは、種類を問わず交付金の申請が一定期間または無期限でLCIFの審査対象から除外されることを意味する。この措置は地区、複合地区、または国レベルで取られることがある。
- 交付金事業が停止または打ち切られる。
- 交付金責任者の変更。必要かつ事業の進展に資する場合には、交付金管理責任者、事業委員長、または両役職者を交代させる。
- 信頼できる監査会社による交付金の財務記録および取引の監査を、可能であれば受給者の負担により要求する。
- ライオンズクラブ国際協会の法務部が適切であると判断した場合には、法的措置が取られることもある。
- 適切な場合には、LCIF理事会により、上記の措置が複合的に取られることもある。

交付金コンプライアンスに関する啓発と認識向上によって、交付金管理におけるベストプラクティスに対するライオンズの理解は確実に高まります。この情報は、事業の実施に重要な役割を果たすあらゆる当事者と共有されるべきです。ご質問があれば、LCIFグローバル交付金部: LCIFGlobalGrants@lionsclubs.orgまでお問い合わせください。

